

会 務 月 報

第339号

発行 社団法人 日本建築士事務所協会連合会

■第112回 建築士事務所協会全国会長会議議事概要

1. 日 時 平成23年3月29日(火) 13:30～15:30

2. 会 場 八重洲富士屋ホテル「桜の間」

3. 会議の構成者数及び出席者数

構成者数 正会員会長46名

出席者数 正会員会長42名(内、代理出席:滋賀会)

書面表決 岩手会、宮城会、山形会、福島会

4. 出席者

日 事 連

名誉会長 小川 圭一

役 員

会 長 三栖 邦博

副 会 長 外木場久雄 八島 英孝 山田 美光

野呂 敏秋 神崎 貢 山下 卓治

専務理事 高津 充良

常務理事 北野 芳男

常任理事 上野 浩也 大内 達史 田端 隆 富岡 学

中野 満 西村 武

理 事 上原 伸一 大野 和男 荻原 幸雄 佐野 吉彦

水谷 達郎 宮原 克平 森野 美徳

監 事 岡田 利一 甲斐 孝明 栗原 憲昭

正 会 員

北海道 西村 武 青 森 野呂 敏秋 秋 田 鈴木 誠一

茨 城 横須賀満夫 栃 木 本澤 宗夫 群 馬 山田 美光

埼 玉 宮原 克平 千 葉 荻原 幸雄 東 京 三栖 邦博

神奈川 上原 伸一 新 潟 中村 優晴 長 野 新井 典夫

山 梨 進藤 哲雄 富 山 近江 吉郎 石 川 桜井 紘一
福 井 神崎 貢 静 岡 立道 幸男 愛 知 朝岡 市郎
三 重 田端 隆 滋 賀 姉川 博則 京 都 上野 浩也
大 阪 佐野 吉彦 兵 庫 外木場久雄 奈 良 泉谷 良宏
和歌山 岩橋 重文 鳥 取 山下 卓治 島 根 矢野 敏明
岡 山 貴田 茂 広 島 村田 正文 山 口 香月 直樹
徳 島 西田 功 香 川 富岡 学 愛 媛 佐々木世希
高 知 西森 敬祐 福 岡 八島 英孝 佐 賀 原田 照行
長 崎 池田 賢一 熊 本 古川 裕久 大 分 中野 満
宮 崎 甲斐 孝明 鹿児島 林 陽郎 沖 縄 新城 安雄
事務局

事務局長 恩田 利昭、総務課長 前田 敏明

5. 議長・副議長

議 長 八島 英孝(福岡会会長)

副議長 山田 美光(群馬会会長)

6 議事録署名人

三栖 邦博(日事連会長)、神崎 貢(福井会会長)、

八島 英孝(議長)

7. 議 事

議事に先立ち三栖会長より挨拶があり、3月11日発生の東日本大震災の被災者へのお見舞いと、一刻も早い復旧、復興を願うこと及び復旧、復興について日事連として全力で取り組んでいきたい。この支援の具体的対応については、本日の協議事項である事業計画、収支予算には間に合わず反映していないため、今後盛り込むことになる旨の挨拶があった。

引き続き次の事項について協議がなされた。

(1) 協議事項1. 平成22年度収支更正予算について

北野常務理事より、平成22年度収支更正予算書説明書に基づき、平成22年度収支更正予算案について「一般会計」、「福利厚生特別会計」及び「適合証明業務登録機関特別会計」の各項目内容について説明がなされた。

(2) 協議事項2. 平成23年度事業計画について

1) 高津専務理事より、第55回通常総会議案書(平成23年度予算総会)に基づき、事業計画作成にあたっての基本方針及

び常置委員会の所掌に属さない事項等について説明がなされた。

2) 上記同議案書に基づき、各常置委員会委員長より平成23年度事業計画案の説明がなされた。

(3) 協議事項3. 平成23年度収支予算について

北野常務理事より、平成23年度収支予算書説明書に基づき、平成23年度収支予算案について「一般会計」、「福利厚生特別会計」及び「適合証明業務登録機関特別会計」の各項目内容について説明がなされた。

協議事項1から3について、議長より諮ったところ、異議なく了承された。

(4) 報告事項1. 東日本大震災への対応について

三栖会長及び高津専務理事より、資料1に基づき次の説明がなされた。

本会の災害対策活動を機動的かつ総合的に推進し、単位会の活動を支援することを目的に、東日本大震災対策本部を3月12日に設置した。業務としては災害情報の収集、行政・関係機関との調整、単位会への調整・連携、災害対策活動の推進である。今後は被災地の単位会に対し、必要な支援や活動を行っていくために、阪神大震災での対応例をもとに建築復興支援センター等の設置を考えている。

また、震災直後の応急危険度判定活動の後には被災建築物の被災度区分判定と復旧の業務に移行するため、単位会に「震災復旧のための震災建築物の被災度区分判定基準及び復旧技術指針講習会」の開催及び講師養成講習会の実施についての協力要請をしたこと、及び建築関係5団体プラス都市計画学会で、災害対応についての連絡会を設置する動きがあること等が報告された。

(5) 報告事項2. 建築確認手続き等の運用改善(第二弾)及び規制改革等の要請への対応について

高津専務理事より、資料2に基づき次の説明がなされた。

建築確認手続き等の運用改善(第二弾)については、3月25日に国土交通省より概要公表がなされ、所要の政令・省令・告示の改正等について本年5月1日より施行される予定とのこ

とである。また、規制改革等の要請への対応についても本年度中に措置される。これらのことについての説明会を建築関係団体を対象に行うとの連絡が国からあり、この説明会の開催について3月28日に単位会へ連絡した。なお、建築確認手続き等の運用改善(第二弾)等の内容の周知を図るため、本説明会実施後、各建築設計団体等において、地域レベルでの研修会の開催についての協力依頼を行った。

(6) 報告事項3. 会員への管理建築士講習の未受講者対策について

上野教育・情報委員長より、資料3に基づき次の説明がなされた。

既存の管理建築士に対する管理建築士講習の受講に関する経過措置期間(平成23年11月27日まで)の終了が迫ってきたことを踏まえ、会員を対象に、受講忘れによる事務所の登録取り消し等の事態が発生することを防ぐため、本年5月から7月頃に対応措置を講じたい。未受講により登録が取り消された場合、当該事務所のみならず、顧客(消費者)にも多大な影響を及ぼし、混乱を招くことが想定される。こうした事態の発生を未然に防ぐことで、会員事務所をはじめ、消費者等の保護を図るとともに、建築士事務所協会及び会員事務所に対する社会的信頼の確保を図る。このため、各単位会の協力を得て、単位会会員に対し、受講促進の周知及び受講有無の確認等の事項を記載した往復はがき等を発信し、その返信結果もしくは未返信の状況等を確認・管理する形により実施する。これらの経費について単位会への助成措置を講じる。

(7) 報告事項4. 平成23年度「建築士定期講習」の実施方法の改善提案に対する回答について

上野教育・情報委員長より、資料4に基づき次の説明がなされた。

昨年12月、(財)建築技術教育普及センターより、受講料の値下げを含む平成23年度建築士定期講習の改善策が、本会及び日本建築士会連合会に提案された。これを受けて、本会及び単位会としての対応方針の検討を開始し、建築技術教育普及セ

ンター提案について単位会に対し意向調査を実施するとともに、その結果を踏まえ、教育・情報委員会でセンターへの回答基本方針について協議し、次の主な事項を内容とする改善策に対する回答書を作成した。

①平成23年度は受講料の値下げは行わず、翌24年度からの値下げに向けて検討を継続する。

②DVDの活用や既受講者への受講申込書の送付等の利便向上を図る事項は、実施を要請。

③要請型講習は、継続検討課題とする。

④会場費の全国一律単価の設定には同意できない。

これらの回答に対する建築技術教育普及センターの返答は、基本的に本会の意向に添う内容であった。しかしながら、受講者の確保の観点から、受講料の引き下げは必要であり、減収分は関係三者(単位会、日事連、センター)が公平に負担することを念頭に、平成24年度からの受講料の値下げに向け協議を今後進めていくこととした。

(8) 報告事項5. 建築CPD情報提供制度の制度改善に伴う今後の対応方針について

上野教育・情報委員長より、資料5に基づき次の説明がなされた。

平成22年12月に開催された第17回建築CPD運営会議(事務局: (財) 建築技術教育普及センター)において、平成23年度から

①建築士定期講習の認定開始(既実施分も遡って認定する予定)②年間推奨単位(12単位)の設定、の2つの制度改善を実施すること及び各加盟団体及びその単位会において、都道府県等に対する制度活用に向けた働き掛けを行うことが決定された。

このため教育・情報委員会では、今後、制度改善の情報提供、制度そのものの周知対策、制度活用についての単位会を通じた都道府県等への働き掛け等の対応を行うこととした。

(9) 報告事項6. 苦情の解決業務の育成支援に係る平成23年度以降の実施について

中野指導運営委員長より、資料6に基づき次の説明がなされた。

平成23年4月以降も継続して、単位会が実施している苦情の解決業務の実施報告書(個別レポート)に関して従来どおり1件につき12,000円の助成を行う。また、単位会の指導委員等を対象に、ブロック単位ごとを原則として苦情の解決業務の事例集をもとに「苦情解決業務研修会」を実施することとしている。

(10) 報告事項7. UIA 2011東京大会における日事連・東京会共催イベントの実施について

富岡学広報・渉外委員長及び高津専務理事より、資料7に基づき次の説明がなされた。

昨年11月に単位会・ブロック協議会に対し、UIA2011東京大会で実施を企画しているイベントに単位会、ブロック協議会において、日事連との共催でイベント等の実施を希望するものがあれば日事連に提案するよう依頼したところ、東京会から以下のような共催希望の提案があった。

①参加者が建築士事務所の設計の現場と活動の一端に触れ、設計に理解を深め、建築に親しむ機会を提供するイベントとして『日本の代表的な建築設計事務所訪問ツアー』及び②『「東京の建築のいま」をテーマにしたパネルディスカッションと東京都庁舎見学ツアー』は、日事連が共催するにふさわしい企画であると思われるので、共催イベントとして実施することとしたい。

実施に係る経費については、日事連が全額負担するが、UIA2011東京大会日本組織委員会では、中央の建築関係団体がイベントを実施するにあたり、その一部を助成する予定としているので、その助成も活用したい。

(11) 報告事項8. 平成23年度日事連建築賞募集要項等について
大内総務・財務委員長より、資料8に基づき次の説明がなされた。

募集要項の主な改正内容は、昨年度より、応募時点で単位会の会員でない者であっても、単位会での第1次審査で第2次審査候補作品に選考された時点で、会員であるか単位会に入会申請することを条件として応募を認め、会員増強の一環として実施した。平成23年度は、この主旨を前提にし

て、日事連建築賞が公益性をもつ事業であることを前面に出すために、「目的」では「単位会の会員である」という記述を削除し、「応募資格」では記述内容を整理した。その他、委員の交代や年度が変わったことによる対象建築物の竣工年月日の期間、応募締切日等の変更を行った。なお、「公表」では「表彰は平成23年10月21日に開催される第36回建築士事務所全国大会(福島大会)において行う。」としているが、福島大会が中止となったが間に合わなかったため、表彰の時期、会場等については5月の常任理事会で決定する。

(12) 報告事項9. 第36回建築士事務所全国大会(福島大会)の実施の中止について

野呂敏秋全国大会運営特別委員長より、東北地域の被害状況説明の後、資料9に基づき次の説明がなされた。

平成23年10月21日に開催予定の第36回建築士事務所全国大会(福島大会)については、震災の状況を踏まえ、日事連としても開催の可能性について検討を行ってきたが、3月26日付けで主管会である福島会より、「会場に予定していた県文化センターが地震被害で現在使用停止の状況にあること、地震、津波並びに原発事故災害で浜通り地方の相双支部、いわき支部の会員が避難の状況にあること、さらに宮城県を始め北海道・東北ブロック協議会の単位会も大きな被害を受けている状況にあり、現在の状況では全国大会開催は困難である」との報告を受けた。

常任理事会で検討した結果、福島会のこれまでの全国大会開催準備状況等を考えると、大変残念ではあるが、今回の震災による被害状況の事態を重く受け止め、開催を中止することを決めた。

(13) 報告事項10. 会員増強への取組についての中間報告(叩き台)について

西村武会員増強検討WG主査より、資料10に基づき次の説明がなされた。

会員増強検討WGでは、単位会への会員増強に関するアンケート調査を実施し、それを踏まえて単位会での会員増強への取組についての中間報告(叩き台)をまとめた。5年後の日事

連の構成員数が2万事務所になること及び10年後に加入率30%を目指すことを目標にしているが、これは単位会の会員数が毎年6.5%増加しなければ達成できない数字である。今回の中間報告をベースにして23年度には単位会やブロック協議会に意見を求め、必要な見直しを行ったうえで会員増強の実施方針としてとりまとめを行い、12月の全国会長会議に報告する予定である。なお、具体的な活動については、できるものから早急に取り組んでいく。

(14) 報告事項11. 住宅金融支援機構適合証明業務に係る適合証明技術者の処分について

高津専務理事より、資料11に基づき次の説明がなされた。

平成22年12月及び平成23年2月に開催された登録制度運営委員会で、現地調査を行わなかった者や技術基準不適合にもかかわらず適合証明書を発行した者6名に対し、登録規程に基づき登録取り消しや業務停止等の処分を行った。

また、業務範囲外の適合証明業務を行った二級建築士の適合証明技術者に対しての文書戒告を14名に行った。なお、二級建築士の適合証明技術者に対し2月4日付で、建築士資格による適合証明業務の範囲についてのお知らせを郵送し、再度、周知を図った。

(15) 報告事項12. 平成23年度主な会議日程(予定)について

議長より、資料12を各自確認していただき、報告に代える旨述べられた。

■第4回 業務・技術委員会 議事概要

[日 時] 平成23年4月26日(火) 14:00～16:40

[会 場] 日事連会議室

[出席者] 委員長: 田端 隆 副委員長: 荻原幸雄

委 員: 遠藤昭五、新井典夫、富田正行、姉川博則、

伊藤光洋、宮脇弘明

(欠席: 担当副会長 八島英孝)

日事連事務局: 高津、北野、恩田、吉田、鈴木、千浜

{配付資料}

資料1: 平成23年度業務・技術に関する事業報告(案)

資料2: 全国入札状況アンケート調査の統計(都道府県、政令指定都市、特例市)

資料3: 震災建築物の被災度区分判定基準及び復旧技術指針講習会関係資料

資料4: 建築確認手続き等の運用改善(第二弾)関係資料

資料5: 構造計算適合性判定制度関連技術検討委員会関係資料

資料6: 業務報酬基準の適正活用検討研究会の検討スケジュール

資料7: 参考-設計監理業務報酬基準による料金表(木造2種、非木造2種)

追加資料: 主要資材調査依頼項目一覧表

合法木材の広報用チラシ

合法木材の広報用DVD(未来をつくる Goho-wood)

1. 協議事項

(1) 平成23年度事業報告について

・平成22年度の業務・技術に関する事業報告について事務局より資料1に基づき説明がなされ、協議の結果、原案のとおり承認した。

(2) 最低制限価格に関するアンケート調査結果のとりまとめについて

・前回の委員会で各単位会から提出されたアンケートの集計結果を報告したが、その後正副委員長でとりまとめ方を決め、資料2のとおり都道府県、政令市及び特例市の3つを対象を絞りデータをまとめたことについて荻原副委員長より説明がなされた。

・今回の資料では、都道府県、政令市で集計したデータと特例市を加えたデータの2つに分類して作成している。より傾向がわかるように全体の割合率(%)も付加した。都道府県等の回答がない単位会があるため、再度依頼することとした。

・荻原副委員長が前書き文を作り、都道府県、政令市でまとめたものと更に特例市を加えたデータの2つのデータを単位会へEメールで提供することとした。

・単位会において、実態調査の結果をもとに告示第15号及び最低制限価格の引き上げのための要望活動等に役立ててもらうこととした。

2. 報告事項

2011-6 日事連会務月報

(1) 震災建築物の被災度区分判定基準及び復旧技術指針講習会の実施について

・当委員会において、被災度区分判定基準及び復旧技術指針講習会について継続的に実施していくことを決定し、昨年末から開催することになっていた。講習会を実施するにあたり、(財)日本建築防災協会が木造編のテキストを改訂することになっていたが作業が遅れており、その最中に東北地方太平洋沖地震が発生したため、被災度区分判定及び復旧作業の需要に対応するために、本講習会を早急に行うことになった。

・講習のテキストは、既存の図書と併せてS造及びRC造に係る別刷り資料を作成し、受講者へ配布することとした。

・4/19講師養成講習会を開催し、単位会の適任者が集まりその内容を受けて講義を行ってもらったことにした。

・単位会会長宛4/15付文書にて開催依頼し、4/28までに開催日程等の回答をいただくことにしている。

(2) 建築確認手続き等の運用改善(第二弾)について

・運用改善(第二弾)が公表され、政省令・告示改正の概要について資料4に基づき事務局より説明がなされた。

・この運用改善は、国で行政職員及び建築関係団体へ4月初旬に説明会を実施してきている状況である。

今後、全国的に建築関係団体が行政職員と連絡を図り研修会を実施する場合には、国が前記説明会で配布したテキストを無償で送付(約1~2ヶ月間対応可能)することにしており、本会から単位会へその旨、連絡をしたところである。なお、テキストの内容は、国土交通省のホームページにも全て公開されている。

(3) 構造計算適合性判定制度関連技術検討委員会について

・当検討委員会(第2回)が2/17開催され、概要について資料5に基づき田端委員長より説明がなされた。

・工学的判断の技術資料を作成すると設計の自由度が狭められてしまうという危惧もあるが、どのような資料を作成していくか今後議論していくことにしている。

(4) 業務報酬基準ワーキンググループについて

・国で行われている業務報酬基準の適正活用検討研究会の検討状況について、荻原副委員長より資料6に基づき報告がな

された。

- ・告示第15号の活用を考え方を具体的に示した業務報酬基準の手引きが新・建築士制度普及協会より6月下旬発行され、建築関係団体へ講習会の実施が求められており、本会ではこれを受けて単位会の協力のもとに講習会を実施する予定である。なお、この講習会の実施については、次回常任理事会及び理事会へあけて承認を得ることとする。

(5)「事務所ビル」の長寿命化に対する意識調査」実施委員会について

- ・ロングライフビル推進協会の「事務所ビルの長寿命化に対する意識調査」について本会から実施委員会に出席している荻原副委員長より報告がなされた。

- ・本会では意識調査のアンケートの協力を単位会へ求めているが、全体の回答の分析している途中であるが、分析結果については同推進協会において冊子を作成し関係者へ配布する予定にしている。

(6)合法木材普及拡大部会について

- ・(社)全国木材組合連合会においてPR用のパンフレット等が作成され、合法木材普及拡大部会に出席している荻原副委員長より報告がなされた。
- ・PR用のDVDも作成されており、同組合連合会より単位会へ送付されている。単位会で種々行われる講習会の休憩時間にDVDの映像を流して活用してもらうよう同副委員長より説明があった。

(7)その他

- ・愛知会において作成した告示第15号による業務報酬基準の算定ツツについて、富田委員より資料7により参考に提出され、作成の経緯、算定の内容等の報告がなされた。
- ・東北地方太平洋沖地震の後、資材の不足により発注を止めるケースや設計変更するケースが生じている地域がある中で、主要資材についての鉄筋工事及び鉄骨工事等の需給動向、価格動向及び資材確保状況等の情報を集めて行政庁へ生の声を知らせていくために単位会へ調査依頼をしたい旨、田端委員長より追加資料に基づき提案がなされ協議した。

この調査を日事連が実施した場合には、集計したデータを公表するまでにかかりの日数を要し、また建設物価調査会等の専門機関が調査・公表しているデータにはないものを適時に公表することは困難なため、今回は取りやめることとした。

◎次回委員会 平成23年7月12日(火)14:00～16:30

日事連会議室

■第4回指導運営委員会 議事概要

日 時 平成23年5月9日(月) 13:30～15:40

会 場 日事連会議室

出席者 委員長: 中野満 副委員長: 上原伸一

委 員: 小町屋一則、飯窪功児、西川英治、
前川浩二、西田功、新垣昇盛

担当副会長: 山下卓治

事務局: 北野、恩田、鈴木、野出

〈 配布資料 〉

資料1 平成22年度 指導運営に関する事業報告(案)

資料2 平成22年度下半期 苦情の解決業務実施報告書(個別レポート)

資料3 単位会の指導委員等を対象とした「苦情解決業務研修会」の実施について(回答票)(案)

資料4 苦情・トラブル・相談の事例収集へのご協力をお願いについて

配布資料 苦情の解決業務の事例集(平成22年度上半期)

議事1. 平成22年度 指導運営に関する事業報告について

平成22年度 指導運営に関する事業報告(案)について、資料1に基づき事務局から説明がなされた。苦情の解決業務の処理結果の順番を変えること、及び参考事例集の作成に平成21年度下半期分を入れることの2点を修正することで各委員において確認し、これを了承した。

議事2. 平成22年度下半期 苦情の解決業務実施報告書(個別レポート)について

平成22年度下半期 苦情の解決業務実施報告書(個別レポート)

ト)について、資料2に基づき事務局から説明がなされた。
個別レポートの修正は、1案件につき2人の委員が担当することとし、6月10日までに修正したものを日事連事務局までメールで送付することとした。各委員が担当するページについては以下の通り。

担当委員名:資料2のページ番号

中野、上原:1～5ページ

小町屋、飯窪:6～10ページ

西川、前川:11～15ページ

西田、新垣:16～20ページ

議事3.「苦情解決業務研修会」の実施について

「苦情解決業務研修会」の実施について、資料3に基づき事務局から説明がなされた。単位会の指導委員は変わっていくため、数年に1度くらいは研修会を開催する必要があるとの意見が出された。

また、回答票だけでは研修会の内容等がわからないため、別途実施要項を事務局で作成し、提供することとした。なお、回答票の表題には「ブロック協議会ごとの」という文言を付け加えることとした。

議事4. その他

・苦情・トラブル・相談の事例収集へのご協力をお願いについて、資料4に基づき事務局から説明がなされた。現在、事例が2単位会からしか提出されておらず、引き続きのご協力をお願いすることとした。また、依頼文書が苦情解決業務のものと混同しかねず、分かりづらいという意見が出された。

・中野委員長より、大分会で行われている苦情を未然に防ぐための講習会についての説明があり、他の単位会においてもこのような講習会を積極的に開催して欲しい旨の発言があった。

■次回委員会 平成23年8月3日(水)13:30～16:00

■主な行事予定

※行事日程は中止・変更等になることがございますのでご了承ください。

平成23年

6月21日 東日本大震災に係る岩手会、宮城会、福島会・日事連建築復興支援センター設置に関する現地での記者発表

24日 事務局連絡会議

27日 建賠保険等調査専門委員会

29日 教育・情報委員会

7月 8日 構造技術専門委員会

11日 管理講習・開設者研修(仮称)テキスト執筆委員会

12日 業務・技術委員会

13日 新法制度検討WG

会誌編集専門委員会

—— 日本建築士事務所政経研究会 会務報告 ——

■平成 23 年度日本建築士事務所政経研究会第 3 回役員会議事概要

1. 日 時 平成23年3月8日(火) 11:00～12:00

2. 場 所 日事連会議室

3. 出 席 者 ○印は出席者

会 長 ○外木場久雄(兵庫)

幹 事 長 ○八島 英孝(福岡)

会計責任者 ○野呂 敏秋(青森)

職務代行者 ○北野 芳男(日事連)

幹 事 ○西村 武(北海道) ○山田 美光(群馬)

○大内 達史(東京) ○神崎 貢(福井)

○田端 隆(三重) ○上野 浩也(京都)

○山下 卓治(鳥取) ○富岡 学(香川)

○中野 満(大分)

(特別出席) 日事連会長 ○三栖 邦博(日事政研相談役)

事 務 局 ○市川 貴之

4. 議長

外木場会長

5. 議事録署名人

外木場会長、大内幹事

6. 議事

(1) 平成22年度事業報告について

事務局から、資料1により、平成22年度事業報告について、①建築士法の抜本改正に係る運動の推進・日事連の施策の支援推進、②選挙における関係候補者への支援活動、③政研独自の運営等、④関係議員への支援、⑤単位会による政治団体の設立、の5つの項目に沿って概要説明が行われ、議長が委員に諮ったところ、原案どおり了承された。

(2) 平成22年度収支決算について

事務局から、資料2により、以下内容の説明が行われた。
収入の部では、寄付金及び政治資金パーティー開催収入について、過年度の未納分の入金及び平成23年1月1日以降の年度を越えて遅延入金等との関係により、両項目の決算額は予算対比で2

万円減の722万円となり、収入の部合計では、予算対比3万2,571円減の3,254万900円となった。

一方、支出の部については、政治活動費において、予算対比で751万1,765円減の381万8,235円にとどまった。この結果、経常経費、予備費等も含めた支出の部合計額は、予算対比で820万4,127円減の386万9,344円となり、次期繰越収支差額は2,867万1,556円となった。

以上の説明の後、議長が委員に諮ったところ、異議なく原案どおり了承された。

(3) 平成23年度事業計画(案)について

事務局から、資料3により、以下内容の説明が行われた。

下記3項目を平成23年度事業計画とすることとした。なお、第2番目の項目の関係国会議員との連携については、従来、自民党建築設計議員連盟との連携としていたが、これまでの役員会等での検討の結果、政権政党たる民主党との関係構築を進めるとともに、自民党とも従来どおり相互協力関係を保っていく旨の方針を踏まえ、このような表現とした。

①日事連の施策の支援推進

②関係国会議員との連携

③単位会による政治団体の設立促進

以上の説明の後、議長が委員に諮ったところ、異議なく原案どおり了承された。また、3番目の項目である単位会による政治団体の設立促進については、ここ数年に渡り、新たな政治団体の設立が行われていないことから、政治団体設立のメリット・デメリット等について調査研究し、その促進を図ることとした。

(4) 平成23年度収支予算(案)について

事務局から、資料4により、以下内容の説明が行われた。

収入の部については、寄付金・政経フォーラム会費負担額の申し合わせに従い、寄附金収入として236万円、政治資金パーティー開催収入として488万円の合計724万円を計上している。なお、受取利息、雑収入、前期繰越収支差額等を含めた収入の部合計額は

3,593万1,556円となる。

一方、支出の部については、政治活動費のうち、役員会費では、平成22年度決算ベースにおいて、98万円余りの執行となったため、今年度は、前年度対比20万円増の120万円を計上した。また、同じく政治活動費のうち、渉外費では、今後、衆議院議員選挙の実施等も想定されるため、前年度と同額の600万円を計上した。また、諸会議費については、平成22年度決算における執行額を勘案し、前年度対比100万円減の200万円を計上した。その他、総会費、監査会費、及び政治資金パーティー開催事業費等については前年度と同額を計上した。

なお、これに経常経費、予備費等を含めた支出の部合計額は、前年度対比で64万1,915円減の1,143万1,556円となり、これにより次期繰越収支差額は2,450万円となる。

以上の説明の後、議長が委員に諮ったところ、異議なく原案どおり了承された。

(5) 民主党との連携等について

事務局から、現状における民主党との連携及び意見交換等に向けた検討状況について説明があり、協議の結果、当面の間は、政治動向を注視しつつ、政権政党である民主党との連携推進を図るとともに、単位政研・単位会等を中心に自民党とも良好な関係を保っていくことを基本方針とすることとした。

(6) 平成23年度第37回通常総会の運営等について

事務局から、資料5により、来る3月29日に開催予定の第37回通常総会の運営方法(案)について説明があり、協議の結果、了承した。

(配布資料)

資料1:平成22年度事業報告

資料2:平成22年度収支決算書

資料3:平成23年度事業計画(案)

資料4:平成23年度収支予算書(案)

資料5:平成23年度第37回通常総会の運営について(案)

参 考: 自民党建築設計議員連盟名簿

■5月末単位会構成員在籍・賠償責任保険制度加入状況

期 間 平成23年5月1日～5月31日

単位会	構成員数(A)	増 減	建築士事務所登録		賠償責任保険		
			登録数(B)	加入率(A/B)	加入数(C)	増 減	加入率(C/A)
北海道	1,036	+ 27	5,079	20.4	222	+ 1	21.4
青 森	171		1,082	15.8	33		19.3
岩 手	255	+ 9	1,186	21.5	60		23.5
宮 城	299	+ 1	2,402	12.4	58		19.4
秋 田	168		1,300	12.9	42		25.0
山 形	189		1,404	13.5	47		24.9
福 島	201		1,826	11.0	49		24.4
茨 城	501		2,480	20.2	139	- 1	27.7
栃 木	173		1,637	10.6	86	- 2	49.7
群 馬	175		2,074	8.4	92		52.6
埼 玉	575	- 1	5,740	10.0	106	+ 2	18.4
千 葉	430		4,055	10.6	95		22.1
東 京	1,379		17,128	8.1	361	+ 2	26.2
神奈川	780		6,846	11.4	148		19.0
新 潟	290		2,750	10.5	105		36.2
長 野	496	+ 1	2,514	19.7	115		23.2
山 梨	112	- 2	944	11.9	13		11.6
富 山	291		1,404	20.7	55		18.9
石 川	266	+ 2	1,427	18.6	51		19.2
福 井	267		1,104	24.2	58	+ 1	21.7
静 岡	561	- 5	3,718	15.1	136	- 1	24.2
愛 知	593	+ 2	5,673	10.5	126	+ 1	21.2
三 重	181	- 1	1,519	11.9	61		33.7
滋 賀	193	- 2	1,306	14.8	35		18.1
京 都	270		2,446	11.0	81	+ 2	30.0
大 阪	920		7,161	12.8	169		18.4
兵 庫	503		4,074	12.3	118		23.5
奈 良	114	- 2	998	11.4	20	- 1	17.5
和歌山	116		812	14.3	25		21.6
鳥 取	81		547	14.8	43		53.1
島 根	151		769	19.6	67		44.4
岡 山	450		1,717	26.2	58		12.9
広 島	384		2,690	14.3	116		30.2
山 口	110		1,339	8.2	35		31.8
徳 島	98		1,002	9.8	13		13.3
香 川	102		1,308	7.8	18		17.6
愛 媛	133	+ 2	1,417	9.4	25		18.8
高 知	141	- 6	779	18.1	16		11.3
福 岡	493		4,236	11.6	130		26.4
佐 賀	171		682	25.1	28		16.4
長 崎	241		989	24.4	42		17.4
熊 本	227		1,527	14.9	81		35.7
大 分	198	+ 2	1,052	18.8	36		18.2
宮 崎	132		1,234	10.7	62		47.0
鹿児島	320		1,492	21.4	79	+ 1	24.7
沖 縄	183		1,313	13.9	47	+ 1	25.7
計	15,120	+ 27	116,182	13.0	3,602	+ 6	23.8

※建築士事務所登録数は平成23年3月末日現在の数字である。